



志木中だより

8月号 平成30年8月29日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
TEL 048(471)0143 FAX 048(474)6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『 学びの上塗り 』

成長の学期に

二学期は行事が多くある学期ですが、学習でも力が入る季節にもなってきます。体育祭や文化祭、合唱祭等は生徒たちのみならず、学校の教職員、保護者の皆様にとっても大きな行事であり、思い出に残る行事となります。生徒たちは、これらの行事を通してきっと大きく成長していくと思います。

生徒たちの大きな成長と活躍を願って、教職員一同熱い気持ちを持って指導にあたっていきたいと思います。

1 学びの秋に（学びの上塗り・・・）

例年になく猛暑続きの夏休みでしたが、学校行事や部活動が大きな存在となる二学期をいよいよ迎えます。これから秋らしく過ごし安くなってくる分、学びの秋ともなっていきます。家庭学習も取り組み易い時期になってきますし、ぜひ、この二学期を「爽り多き、学びの秋」にもしてもらいたいと思います。確かな学力を身につけるには、繰り返しの学習必要であるとよく言われます。私も学生の頃、何冊もの問題集に手を出すより、1冊の問題集を繰り返しやった方が力になると指導されたのを思い出します。何度も学びの上塗りをすることが大事だということです。さて、その上塗りをする時間をどう作っているでしょうか。

おもしろい資料があったので紹介させていただきます。これは、2003年、都内で義務教育初の民間人校長（杉並区立和田中学校）に就任した藤原先生からの「保護者への五つのお願い」からの抜粋です。

（中略）

テレビをつけっぱなしで見せている家庭の子の学力は保証しません。テレビは1日1時間強まで、番組を選んで見せてください。これで1年間のテレビの視聴時間が約400時間となり、英国数理社5教

科の年間総時間数と並びます。2時間以上つけっぱなしで見せていると年間800時間以上となり、考える力に著しいダメージを与えます。テレビを1時間に抑え、その代わり自宅学習を1時間15分以上させれば、自宅での勉強が400時間上積み増され、確実に学習したことが定着するでしょう。

随分、昔のことですので、今の状況とは若干異なる要素も多分にあります。子供たちはテレビに割く時間よりもスマートフォンやゲームに割く時間が結構多いのではないのでしょうか。また、個人差・学年差があり一日に必要な学習時間量は一概に決めることはできません。いずれにせよ、学びの上塗りをする時間が確保されているかが問題となるのです。

さて、志木中での学力向上は、どうなっているのか？ということになりますが、本校では授業改善に取り組み、特に授業を振り返らせ、授業で何がわかり、何がわからなかったのかを明確にすることによって、家庭学習へつなげることや、前時の確認を毎時間行い、單元ごとに各教科で工夫します。これもまた学びの上塗りをねらいとしています。学校・家庭における繰り返し学習が生徒の大きな力になることを期待しているところです。

いずれにせよ2学期のスタートです。一人一人が自分の目標実現に向けて、意欲を持って取り組む姿に期待しています。



志木中だより

10月号 平成30年9月28日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
TEL 048 (471) 0143 FAX 048 (474) 6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『深まりをみせる秋』

誇らしい姿・・・

平成30年度も6カ月ほどが経ち、折り返し地点となりました。本年度の体育祭は、始業式から数えて約2週間足らずしか、練習時間が確保できず、また天候に左右され、練習時の確保を全校生徒で工夫しながら迎えた体育祭本番当日、天候不順により順延となったにも関わらず、「今、自分たちの出せる力を全力で発揮しよう」とする意気込みを感じる素晴らしい生徒たちの姿を見ることができました。いつも感じることは、行事を通して一人一人が本当に大きく成長してくれるところが志木中生の素晴らしいところです。

生徒同士が団結して、学年、組、クラスのために一生懸命に取り組み、声を掛け合い、励まし合ってひとつの目標に向かい全力を尽くすことができました。その姿から多くの感動を与えてくれました。体育祭終了直後の解散風景では、組をまとめてくれた3年生をたたえる姿が随所に見ることができました。

地域の皆様を始め、保護者の皆様には、体育祭の実施に際して、生徒に向け、熱い声援をお送りいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

深まる秋・文化の秋・・・

実りの秋、スポーツの秋、文化の秋など色々形容される秋が本番となり「文化」という言葉を耳にする機会が増えてくる季節でもあります。私自身は、「日本の文化」と言えば、日本古来の美学、美意識が思い浮びます。例えば、机一つ取り上げても、同じアジアで同じ机・椅子であったとしても、細工やデザインが、日本は繊細で端正な主張しないけれど、完成された落ち着きのある飽きのこない緻密な技術に裏打ちされたものが、作られているのを感じます。それは、焼き

物でも、衣類の着物・帯、お菓子でも感じられるものです。また、庭でも家でも、海外の人からすると一見狭苦しい「町家」や「坪庭」が、落ち着いて、心地よかったり、暑苦しい夏が不思議と涼しく、強い紫外線を、すだれや軒、茂る落葉樹でうまく楽しんだり、自然の風がエアコンより空気が美味しかったり、自然に準じた生活を感じることができます。このように日本人にとって当たり前のようなことが、日本の「美」として世界中に称されています。つまり、日本の美学とは「感性」と「緻密な技術」によるものが多分にあることを感じさせられるものかと思います。

われいがいみなわがしなり

我以外皆我師也

自分以外の、人でも物でも皆、自分に何かを教えてくれる先生だという意味です。小説家吉川英治氏が用いられた言葉です。我々教師は、生徒を教える立場ですが、生徒たちから学ぶことも多くあります。人から常に学ぶという謙虚な姿勢をもつ。そんな気持ちをもっていると、人から学べることは山ほどあります。互いにそういう気持ちを持っていれば、集団はますます高まっていきます。学習においても、部活動においても、その集団が互いを認め、学びあうことは大きな力になります。2学期のこれから、合唱祭をはじめとする学校行事に向けて、学習、進路にむけて、互いのよさから学びあい高めあう集団になれるように期待しています。今年度残り6カ月間、どんなことを学び、どんなことをしていきますか？



志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
TEL 048(471)0143 FAX 048(474)6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

校長 小林良昭

『健康な身体と心』

心と身体・・・

10月の半ば過ぎには、これまでの暑さも和らぎ、気がつけば、季節はすっかり秋の深まりを感じるようになっていました。食欲の秋。美味しい食べ物が豊かに実る季節でもあります。

健康な身体を作る大切な要素が「食」にはあります。日本人は昔から、植物の根や葉っぱ、豆や海草、魚を多く食べて健康でしたが、最近では、高カロリー、高タンパク、高脂肪の食事を摂り、50年前に比べて、肉の消費量が5倍に増えるなど、食生活は大きく変化してきています。大地や海からのミネラル豊富な食事を摂っていたときに比べ、ミネラルが不足しています。大人も子どもも気持ちが落ち着かなくストレスを感じたり、我慢が出来ず、「すぐ切れる」人が増えているのもミネラルやカルシウムの不足に原因があるとも考えられています。

「食」の文字を「人を良くする」と分析するのが正しいか否かはさておき、食べることは健康な身体を作る大切な要素であることはもちろんのこと、心の成長にも大きな関わりを持っています。「心」は「脳の活動」です。脳は肝臓や心臓と同じ「臓器」です。臓器が健全に育つには栄養が欠かせないのです。

近年、「知育・徳育・体育」と共に「食育」の重要性が叫ばれています。食育は食物についての知識や選択能力を身につけることであり、生涯にわたる健康作りの基礎になります。丈夫な身体を作り、頭を良くし、優しい心を育てるために真剣に考えていくべきことであると捉え

ています。秋はまたスポーツの秋、芸術の秋、読書の秋でもあります。身体を動かし、絵を見たり、音楽を聴いたり、本を読んだりすることでも心に栄養を与え、身も心も大きく成長して欲しいと思います。

合唱コンクールを終えて・・・

去る10月26日(金)第72回志木中学校合唱コンクールが開催されました。

日々限られた期間、合唱祭に向け、音楽の授業や学級活動の時間、昼休み、そして放課後の時間を使いながら、どの学級も練習を重ねるにしたがって、心を一つにして一生懸命に、金賞、そしてより良いものを目指して取り組んできました。体育祭の時のように仲間と知恵を出し合い、協力し合い創り上げていく活動には、なんとも言えない素晴らしいものがあります。

私が思う合唱とは、モザイクのタイルのように、パートという自らの色を出しながらも周囲とのバランスを保ち、全体としてひとつの大きな作品を作り上げるという大変高度なものだと思っています。自分以外のパートの声に自分のパートを重ね合わせて歌うということは大変難しいことですが、それが上手くできたときの達成感、成感感、例えられないほどの素晴らしいものであると感じます。自分のパートを正確に歌うことはもとより、自分たちが歌う歌そのものに込められている思いを心で受け止め、その心を音声に乗せ発するという思いで合唱を披露してくれたものと思います。



志木中だより

12月号 平成30年12月3日

【学校教育目標】

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
TEL 048 (471) 0143 FAX 048 (474) 6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

校長 小林良昭

『 振り返りと課題設定のサイクル 』

まもなく2学期が終了します。同時に平成30年もあとわずかとなりました。



年の瀬を迎える
と毎年一年が終
わることへの感
慨と新しい年に
向けての期待を

感じます。毎年繰り返されることですが、なんとなくそわそわした気持ちになってきます。一年を振り返る時期になり、生徒一人一人はこの一年でどのような成長をすることができたでしょうか。学校では、各学年とも、それぞれの学年に応じた順調な成長を遂げることができてきていると思います。

保護者の皆様には、改めて志木中学校の教育活動にご協力いただきありがとうございました。

生徒たちが成長、伸長できていることは、地域やご家庭のご理解、ご協力あってのことと感謝申し上げます。

1. 目標を持った時の力

3年生は進路選択のために学校見学会や事前相談を進めて、いよいよ大詰め新时期になってきました。受験先がほぼ決定し、1月には私立高校の入試が始まります。

志望校の進学のための基準をクリアするために2学期の成績を上げようと努力してきた3年生が大勢います。自分の進学希望をどうにかして達成しようという目標を明確に持ち、努力をして大幅に成績を向上させることができた生徒がいます。目標をしっかりと持ったとき、発揮できる力は素晴らしいものがあります。そのため保護者の応援もとても大切です。入試に限らず、自分の目標を達成するために本気になることは、予想以上の力を発揮させるものです。

2. 振り返りと課題設定

今の状況を「振り返る」というのは・・・

- ・自分は何ができているのか、
できるようになったのか
- ・何がまだできていないのか
- ・これから何をする必要があるのであるのか

ということを見直すことで、次の課題設定がそこから始まります。

そして、その繰り返しをできるようにすることが、事を進めるためには必要です。

学校もその意識をもって今後とも教育活動を進めて参ります。生徒自身の成長もその繰り返しが大切であると考えています。

3. 誰にでも魅力はあるもの

12月になると耳にする歌、「赤鼻のトナカイ」はみなさんよくご存じだと思います。歌の主人公ルドルフという名のトナカイには大きな悩みがありました。「どうして僕の鼻はみんなと違うんだろう」と、ルドルフは、悲しくて自信のない日々を送っていました。あるクリスマスの日、サンタクロースと8頭のトナカイたちが、いざ出発しようとしたところ、突然深い霧が立ちこめ、サンタは暗闇の中で出発できずに困り果ててしまっている時、ルドルフの赤い鼻がピカピカ光っていることに気づき、「これだ!」とルドルフに近づき、サンタは「君は、みんなと違うけど、ピカピカの赤鼻は、暗い夜道を照らすことができる。とても役に立つよ!」と声を掛け、その夜、ルドルフが先頭を走り、世界中の子どもたちにプレゼントを届けることが出来ました。ルドルフの大きな悩みの象徴の赤鼻は、他の誰も持っていない最高の宝物となりました。赤鼻のトナカイの歌は、短所だと思っていることが長所になること、誰もが自分にしかない魅力を持っていることを私たちに教えてくれています。